

地域活性 お年寄りとショット

神戸北高生企画グラウンドゴルフ

神戸市北区唐櫃台にある県立神戸北高校の生徒たちが地域住民との交流をテーマにした授業を企画した。生徒と地元のお年寄りたちが幅広い年代で楽しめるグラウンドゴルフを通じて交流を深めた。来年度も実施して、多くの住民を巻き込みたい考えた。

「うまい!」「すごい!」。

11月6日、同校のグラウンドで、「福祉ボランティア類型生涯スポーツコース」で学ぶ3年生13人と、唐櫃台に住む老友会のメンバー7人がグラ

「伝統になれば」

ウンドゴルフを楽しんだ。メンバーの1人がホールインワンを決めると、生徒から大きな歓声が上がった。

同コースでは毎年、3年生が授業の一環でスポーツ行事を企画している。学校の最寄り駅からの通学路に手すりが多い。コンビニが高齢者施設に変わった……。保健体育科の福本友貴教諭(33)が地域で高齢者が増えているのを感じ、4月から生徒たちと話し合い、「地域が元気になる企画」を一緒に考えた。

地元で盛んなグラウンドゴルフに生徒たちが着目し、「唐櫃台を元気に」をテーマに地域住民を巻き込んだ企画を立案。熱中症対策やプレー中の接触防止など安全な運営をするために準備を進めたという。

先月6日のグラウンドゴルフに参加した老友会の向昌雄会長(80)は、「話をもらったときはびっくりした。続けるならもっと多くのメンバーが参加し、みんなで喜びを分かち合いたい」と話す。

企画のリーダーを務めた小郷大和さん(18)は「不安なこともあったけど、普段できない交流は楽しかった。今後、北高の伝統になれば」と語った。



グラウンドゴルフをプレーする生徒たちと老友会のメンバー 11月6日、神戸市北区